

築地場外市場

東京都内には 11 か所の中央卸市場がある。1,328 万人都民の食生活の流通拠点である。その中で日本はおろか世界最大規模となる築地市場は、中央区の隅田川下流が東京湾に注ぎ込む辺りに位置していた。ここでは水産物取扱量は日本最大で、やさい・果物の青果、鳥卵、漬物、冷凍食品、その他各種加工品などが主に取り扱われている。

以前ここでの売買は東京都管轄の卸・仲卸など資格のある業者に限られていた。場内には食堂街もあり市場で働く人、買出しに来る人の為の言わばプロの舌を満足させる、安くて美味しい店が沢山あった。しかし嬉しいことに入場規制の解除により今では東京の観光地の一つになっている。



また気軽に観光客をはじめ地元一般の人でも購入できるのが、築地市場に隣接している場外市場がある。200m 四方の広さに鮮魚・魚類加工品店、肉類・卵・青果店、乾物店（鰹節、海苔、乾物）、加工食品（おでん、漬物、佃煮、玉子焼、珍味）、厨房器具（料理道具、刃物、食器類、包装用品）飲食店など、約 330 店舗が立ち並ぶ総合商店街である。私は熱々の玉子焼きを買いその場で立ち食いをした。雰囲気と焼き立てが何とも美味しさを倍増させたように思えた。

飲食店で一番の人気は何といっても「寿司」であろう。毎年恒例の築地市場ではマグロの初セリが行われ、青森県大間産 1 本が 3249 万円の高値が付いている。高値の傾向は今後も加速しそうな感じがする。市場を歩いていると寿司屋の前で人盛りがあり覗いてみると、まぐろの解体ショーが始まるところであった。

撮影 2011 年冬

